

エッセイスト・  
中野香織さんが  
語る

# 英国の“愛と寛容”を示したロイヤル婚

ロイヤル婚は、ただ王族の結婚というだけではない、時代を映す、社会的意味があります。  
英国の王室や文化に造詣のある中野香織さんに、ヘンリー王子とメーガン妃の結婚式を分析していただきます。

人種も過去も問わない。愛さえあれば

結婚式の生中継を見てまず感じたのは、とても21世紀らしかったということです。ヘンリー王子は近衛騎兵連隊の制服を着用しながら髭をそらず、メーガンはシンブルなドレスにいつものメッシー・パンとそばかすだらけのメイクで登場。2人の決め過ぎないスタイルのバランスもよく、これぞミレニアル世代の結婚式と思いました。王子のお色直しのタキシード姿は専門家からすればひどい着方だそうですが、そのカジュアルさも彼らしさ。式の列席者は英国貴族よりアメリカのセレブリティが目立ち、ウエディングケーキも伝統を破ったフレッシュタイプなど、現代の嗜好に沿ったものを王室の結婚式で行うことで、今はこんな時代と是認する役割も果たしました。宮殿の広報官より、式の詳細が情報の洪水と思

## すべては ダイアナ妃から始まった

えるほど随時発表されたことも今世紀的でした。

そんななかで特に感動したのは、英国がみせた優しさです。エリザベス女王は、女優で離婚歴があり人種が異なるというトリプルハンデのメーガンを、果てしなく広がる海のような愛と寛容でロイヤルファミリーとして受け入れました。国民からの大きな反対もありませんでした。実はメーガンの足を一番引ったのは親族。そのせいで母親のドリアはたった一人の親族代表として式に出席するはめになりましたが、チャールズ皇太子のさりげないフォローでごく自然にファミリーの一員に。式の内容的には黒人文化の色がかなり出て、英国王室の結婚式でゴスペルが流れる衝撃。アメリカ聖公会のカーリー主教が、イギリス人はあまり得意でない、大上段からの熱のこもった説教を長々としたときも、列席者たちはイギリス人らしいユーモアでくすくす笑って

受け入れました。王子の元彼女や王族と離婚した女性も招待する極め付きの寛容も示しています。

これらは、今、世界各地で自分の国が一番と排他主義が起こり、第3次世界大戦に向かいそうなどきに、愛と寛容で世界を包みましようというメッセージの発信に思えます。世の中どうなっていくのだろうという絶望のなかで、人種が異なれど、過去にいろいろあっても、愛さえあればファミリーになれるというフランスの力を英国王室が見せたのです。しかもそれが、完璧ではない2人（ハリーもさまざまなスキャンダルを起こした問題児でしたから！）の結婚式で発信されたことにも意味があります。困っ



た家族に悩まされている人は多いけれど、家族は家族。自分は自分で幸せを追求していい。そのメッセージにいろいろな人が勇気づけられたはずだ。

## 愛する人を見つけたら何があっても

それにっけ思うのが、ダイアナ妃の存在の大きさです。礼拝堂にはダイアナ妃のためと憶測された空席がありました。その空席は、彼女ならこの結婚を絶対喜んで許しただろうから、誰にもこの結婚に文句を言わせない、そんな空気を漂わせていました。ダイアナ妃こそは幼いハリーに、人種の壁を超えて

人を愛することを教えたその人だからです。ダイアナ妃の愛もチャリティ活動も普通に生きようとすることも、すべてハリーに受け継がれています。そしてハリーは「愛する人を見つけたら、何があってもしっかりと抱きしめていなさい」という母のメッセージをしっかりと守り、メーガンと結婚しました。その意味でこの結婚の原点はダイアナ妃にあるといえます。新郎新婦が誓いの言葉の最後に「手をつなぎ、終始ラブラブであったことも、感情を表に出すことをよしとしてこなかった英国王室の伝統らしくはありません。でもハリーは、感情の表現を無視しがちだった英国人をエモーショナルに変えたダイアナ妃の息子。そう考えるとますます感無量です。

新婦のウェールには、英連邦53カ国の花が刺繍されていました。それは英連邦というより地球全体に向けてのメッセージに思えます。この結婚は近年よくいわれるダイバシテイ（多様性）やインクルージョン（包括）のこの上ないお手本だったと思います。どこかのメディアがヒーリング・ユニティ（癒やしの統合）という表現をしていましたが、ギスギスした世の中をあらゆる種類の愛と寛容で癒やすような効果のある統合力、そんな影響力を感じました。とはいえ、ハリーがそうなることを意図していたとは思えず（笑）、神の見えざる力が働いたか、もしくはダイアナ妃の導きがあったかもしれませぬ。

と、いろいろな驚きと感動のあった式が「ゴッド・セーブ・ザ・クイーン」の斉唱で大団円を迎え、それをいつもどおりエリザベス女王が歌わず無然と聞いているのが、面白く安心もしたロイヤル婚でした。



お話・中野香織さん

なかの・かおり ●株式会社Kaori Nakano 代表。エッセイスト、服飾史家として執筆・講演・顧問講師など活躍中。東京大学非常勤講師、英国ケンブリッジ大学客員研究員、明治大学特任教授を歴任。著書『紳士の名品50』（小学館）他多数。  
<http://www.kaori-nakano.com/>

*"It was this beautiful woman just sort of  
literally tripped and fell into my life.  
I fell into her life." — Prince Harry*

「この美しい女性は僕の人生となり、  
僕は彼女の人生となった」  
——ハリー王子



ウィンザー城のローズガーデンで撮影された挙式後初のツーショット。婚約発表後の公式写真(右ページ)と同じく、公式フォトグラファー、アレクシー・ルボミルスキーによるもの。ルボミルスキー氏いわく、庭での撮影に許されたのは約3分半。その短い時間が終わって座り込んだ瞬間に美しいカットが生まれたそう。

## 2018年5月19日のスケジュール

- 11時20分 ヘンリー王子とウィリアム王子が教会に到着
- 11時45分 ヘンリー王子、城内へ招待された約2600人の市民の前を徒歩で通過しながら礼拝堂に到着
- 11時55分 エリザベス女王が到着
- 11時59分 メーガン、母親と共にウィンザー城に車で到着。母は下車し、代わりにブライズメイドとページボーイが車に乗り込み礼拝堂へ向かう
- 12時00分 挙式開始
- 13時05分 式が終了。サセックス公爵夫婦として礼拝堂から姿を現し、ロイヤル・キス
- 13時10分 2人は馬車に乗ってウィンザーの街をパレード
- 15時30分 ウィンザー城の聖ジョージホールでエリザベス女王主催の昼食会
- 19時00分 ウィンザーにある王室所有地フロッグモア・ハウスで、親しい友人など200人を招いたパーティ(チャールズ皇太子主催)を行う

テーマは“多様性”と“母”へのオマージュ

# “愛の力”が作り上げた特別な一日

ロイヤル婚の舞台はロンドン郊外のウィンザー城。ヘンリー王子には子ども時代の懐かしい思い出があり、メーガン妃とも度々過ごした“非常に特別な場所”での一日をプレイバック。

## ハリー&メーガンのこだわり

### ダイアナ妃へのトリビュート集

挙式で旧約聖書の一節を朗読したのはダイアナ妃の姉。式場の花には妃が好んだ白バラ、ブーケには特に愛した忘れな草(王子が摘んだもの)を取り入れました。また式では妃が好きだったウェールズの聖歌を歌い、披露宴では親友エルトン・ジョンにパフォーマンスを依頼。

### 初めてのアメリカ&アフリカ色

アメリカ聖公会の主教がキング牧師の言葉を引用しながら熱い説教(しかもiPadを前に!)。続くアメリカのゴスペルグループによる「スタンド・バイ・ミー」と驚きの連続。夜のレセプションのファースト・ダンスの曲もアメリカの歌手、ホイットニー・ヒューストンでした。

### 新しい試みの裏にも理由が

花婿の付添人はウィリアム王子。でも花嫁の付添人がいないのは友人から一人を選べないから。フレッシュなウェディングケーキにしたのは伝統のフルーツケーキは砂糖を使い過ぎだから。その代わりに王室の領地で栽培したエルダーフラワーを使って英国らしさを表現。

### メーガン妃らしいフェミニズム?

英国王室の結婚式で花嫁はスピーチを行わないもの。でもメーガン妃は夜の披露宴で堂々スピーチ。ドレス、ケーキ、花と特に注目を集めるスタッフに女性を起用。ロイヤルキスのきっかけも彼女から。思えば祭壇に向かう通路半分を一人で歩いたのも自立した女性の象徴。

### ストーリーのある伝統は大切に

ブーケにヴィクトリア女王が植えたマートルを使用し、式後はウェストミンスター寺院の無名兵士の墓に献花という、王室代々の花嫁のしきたりは守り、ケーキは3つの金の皿に盛り、ヴィクトリア女王の王女の結婚式に始まる3段重ねのスタイルはさりげない形で踏襲。

### 国民に近い結婚式を、と招待客選出

礼拝堂には個人的に関係のある人を約600人。お城の庭には英国各地から招いた一般人約1200人や慈善団体のメンバー約200人。また公園での祝宴に地元民や近隣小学校の児童を招待。総数2640人の中に各国の王室メンバーや政治家はなしという珍しいロイヤル婚に。



1 花嫁一人で礼拝堂に向かう姿が印象的。2 花嫁の父の代わりにチャールズ皇太子が付き添って株を上げる。3 女王陛下はじめ笑顔の王室メンバー。4 花嫁を見た瞬間目がうるんだ花婿。5 思いの詰まったブーケ。6 花嫁の結婚指輪は女王から贈られたウェールズ産ゴールドで作る伝統を遵守。7 マイケル・カーリー主教はこの依頼をエイプリル・フルのジョークと思ったとか。8 夜のレセプションへ。“ハリーがメーガンに会った時”という名のカクテルも出たそう。9 王子の洗礼式も行った聖ジョージ礼拝堂。



ずっと見つめ合い、  
手を握り合う2人

結婚の誓いの言葉の最中(カリー主教の説教の間も)ずっと手を握り合っていた2人。カナタベリー大主教にとっておぎと初めての景色

11



文字通り国民に近い  
ロイヤルウエディング

ウィンザー城にバルコニーはなく、礼拝堂の入り口で行われた初キス披露。目の前に一般の招待客と、驚くほど国民と近いロイヤルキス

10



こっ見えて王子は  
結婚指輪をするタイプ

*Sweetest Looks of Love*

式を終え列席者の祝福を受ける2人。指輪交換をしなかった兄と異なり、花嫁の手を握るヘンリー王子の指にはプラチナの結婚指輪

13



大切な仲間のサハート  
ハレイトも大成功

馬車のナレードは、王子が「ただのハリーになれた」近衛騎兵連隊や陸軍の仲間が全面サポート。何より嬉しかったに違いない!

12

# ファッション・チェック

ドレスで登場したメーガン妃。緑美しいのどかなウィンザーのゲスト。ロイヤル婚ならではの帽子にも注目を。

## ウエディングドレスは究極のシンプル

特別に織られた二重のシルクキャンディで作られたドレスは、美しい鎖骨が映えるボートネック以外、究極に抑制の利いた、それでいて優美なもの。ブランドはイギリスでもアメリカでもなくフランスのメゾン、ジバンシィ、でもクリエイティブディレクターのクリア・ワイト・ケラーはイギリス出身と、何とも賢い選択をメーガン妃はやってのけました。約5か月に及ぶ秘密のドレス製作を彼女と共にしたケラー氏は、「彼女は正直で温かく、強い女性。自分が望むことをはっきり分かっていました」と絶賛。2人で「モダンで新鮮」なドレスを目指しました。そのトレンより長いヴェールも、一見シンプルながら英連邦53カ国の花(加えて新郎新婦ゆかりの地に咲く2種の花)で縁取られ、英連邦のユース・アンバサダーに就任したヘンリー王子をサポートする意志と感謝を表現しています。隣のヘンリー王子は近衛騎兵連隊、ブルーズ・アンド・ロイヤルズの礼装、フロックコートを着用。



2



3



## 2着目、陰の主演はダイアナ妃の指輪



4



5



6

夜のレセプション用のドレスはステラ マッカートニー。こちらもメーガン妃の美しい肩を生かしたホルターネックが特徴です。が、別の意味で装いの主役となったのは、会場に向かうジャガーに乗り込んだ後、手を振る右手に光って注目を集めることを計算しただろうアクアマリンの指輪。ダイアナ妃が離婚後に訪れたオーストラリアなどで着け、印象づけていたアスプレイのもの。王子がメーガンに贈り、この晴れ舞台でデビューさせたのです。なおヘンリー王子のタキシード姿はポケットチーフもカマーバンドもなく、靴も茶色、というのが掟破り。でもこのラフな感じが彼らしさ。

## ヘアメイクもメーガン流が生きて



ダイヤモンドとプラチナのティアラはエリザベス女王から貸し出されたバンドゥー・ティアラ。1932年、女王の祖母、メアリー皇太后のために作られたものでモダンなドレスにもびったり。ヘアの担当はサラ・ジェシカ・パーカーも手掛けるセルジュ・ノーマン。ティアラの扱いに緊張しつつ、いつもより少しだけコントロールしたメッシー・バンを45分で完成。メイクは、以前キャサリン妃がセルフメイクで結婚式に臨んだことは有名ですが、そこは女優。友人のアーティスト、ダニエル・マーティンにお任せ。そばかすを生かした薄付きのツヤ肌、意志を感じる洗練のポイントメイクで、ヘルシーな魅力を生かしつつ品格も感じさせるパフォーマンスな顔をゲット。

7

列席者は  
ウィンザーのムードで

新婦、王族からセレブリティまで **ロイヤル婚の**

予想を遥かに超えたシンプルなおウエディング  
雰囲気合った、思い思いの装いで出席した

レディ・キティ・スペンサー  
今回のゲストで最も美しいと注目を集めたダイアナ妃の姪は自身がモデルを務めるドルチェ&ガッバーナのドレス。



3

デヴィッド&  
ヴィクトリア・ベッカム

自身のブランドのドレスでシックに決めるヴィクトリア。デヴィッドのディオール オムの着こなしもクールと評判。



5

キャサリン妃  
シャーロット王女  
ジョージ王子

母はアレクサンダー・マックイーンのコートに合わせフェリッパ・トレシーで帽子を新調。王女は新婦のドレスと同じジバンシィ。王子は新郎のミニチュア版。幼い王子が長ズボン履くのも伝統破り。



1



2



4

ピッパ・ミドルトン

第1子妊娠中のピッパは、ザ・フォールドのフローラルプリントのドレスとジュース・コレットの帽子で春らしく。

ブリヤンカ・チョープラー  
アビゲイル・スペンサー

メーガン妃の親友でハリウッドスターのブリヤンカ(右)はヴィヴィアン・ウエストウッド。米国人女優アビゲイル(左)も妃の友人。アレクサンダー・マックイーンのコートとドレスのドット。



9



8



11

ジーナ・トレス

ドラマ「スーツ」のスターはオレンジが緑に映えるシアーなドレス。ギリシャ発のデザイナー、コスタレロスのもの。

ジョージ&  
アマル・クルーニー

メーガン妃の友人でロンドン生活をサポートしていたというアマルは、新婦のお色直しと同じステラ マッカートニー。



12



チェルシー・  
デイヴィー

7年間王子と交際していたチェルシー(中央)は、アライアの紺のドレスにゴージャスな帽子と攻めたスタイル。

キャリー・マリガン  
夫のマーカス・マムフォードと出席のキャリーはアーデムのドレス。フローラルの刺繍がウィンザーにぴったり。

# &メーガン。ロイヤル婚の舞台裏

とメーガン妃の結婚式。もっと幸せになるエピソードや、ウエディングの裏側を隅々までお届けします。

## 3 礼拝堂の席で存在感を示した2人の母



右の写真、ウィリアム王子の隣の空席こそが、ダイアナ妃のためと噂された席。そして左の写真、ドリアさんはその空席の真向かい。新婦の親族としてたった一人で出席し、時折涙ぐみつつも凛とした佇まいを崩さなかった姿に、これまでのさまざまな誹謗中傷にも無言を通し娘を守った芯の強さが！この母にしてメーガンありと納得。

## 4 ヘンリー王子が招待した大切な人との絆

2006年アフリカのレントで、同国のセイーン王子と共に、ダイアナ妃の遺志を継いだ子どものための慈善団体「センタペイル(忘れな草)」を設立したヘンリー王子。その2年前、ボランティアで訪れたレントの孤児院で4歳のムツ君と出会ったのが一つのきっかけでした。以来、交流を重ねた2人。今回、各地で慈善活動に尽力する人々を招待したなかで、最初に王子にお祝いの挨拶をするグループには18歳になったムツ君がいました。



### ロイヤル婚を追体験する英国アドレス

- ウエディングケーキを作ったクレア・タックのお店はヴァイオレット・ケーキ (Violet Cakes)。
- フィリップ・クラドックの花はデパート、セルフリッジズ (Selfridges) で購入可能。
- メーガンがブライダルエステとして通ったのはフェイシャリスト、サラ・チャップマン (Sarah Chapman)。
- 結婚式前夜、メーガンが宿泊したのは豪華な旧貴族の館のクラブデン (Cliveden)。
- ヘンリー王子はミシュランを獲得したレストランもあるカワース・パーク (Coworth Park) に宿泊。
- メーガンがブライダルシャワーを行ったホテルはオックスフォードシャーのソーホー・ファームハウス (Soho Farmhouse)。
- 2人がブラインドデートを行ったのはディーン・ストリート・タウンハウス (Dean Street Townhouse) 内のレストラン。

## 1 お子さまたちの可愛い活躍が話題に



まずシャーロット王女。車中から舌を出してみせたり、くしゃみをした口元に手を当てる仕草が話題に。式の途中で外に出たがった女の子を止め、しかも「私たちは頼まれるまで待たないといけないの」と理由もしっかり話す賢さ。ブライズメイド2度目の余裕を超えたしっかりさんの面を見せつけました。そして今回のスターは、新婦のヴェールを持つ大役を任されたブライアン&ジョン・マルローニー。カナダ元首相の孫であり、メーガン妃の親友のスタイリストの息子(7歳の双子)の彼ら。4歳の妹アイヴィも新婦のブーケを一時預かる大事な役目を果たしました(そのため写真の新婦入場の際は女の子で一人ブーケなし)。ママのインスタに登場する双子たちのおしゃれさも話題です。

## 2 式後の初公務で華麗にロイヤルデビュー

結婚式後すぐに新婚旅行に出掛けなかった2人。理由は3日後、チャールズ皇太子の70歳を祝うバッキンガム宮殿でのガーデンパーティーに出席という大事な公務があったためです。ヘンリー王子は父のためにスピーチを行い、式で母ともども皇太子の騎士道精神に助けられたメーガン妃は義理の父母とすっかり打ち解けた様子。さりげなく王子をリードするシーンも。注目の、今までとは打って変わった公爵夫人らしくロイヤルな装い。実は結婚式から半年間、女王のプライベート秘書がついてロイヤル指南をすることになったのです。サセックス公爵夫人として完璧なデビューの裏にはその影響が早くも出たのかも。今後のメーガン妃のロイヤルぶりが楽しみです。



# まだまだこだわりやエピソードがいっぱい 運命のカップル、ハリー

さまざまな愛の力をたっぷり見せて、楽しませてくれたヘンリー王子もつとイギリス王室を好きになるこぼれ話など、新時代のロイヤル

ようこそ  
サセックス公爵  
夫妻!

## 5 新しいロイヤルファミリー集合

最後はアレクシー・ルボミルスキーによる集合写真。各メンバーと新郎新婦との関係や、結婚式でのちょっとしたエピソードをご紹介します。

### カミラ夫人

ロイヤル婚ならではの帽子バトルで最も注目を浴びたのは夫人。デザイナーはフィリップ・トレーシーで納得。

### チャールズ皇太子

新婦親族から一人で出席のドリアさんを折に触れ優しくフォロー。新婦に付き添う姿も自然と、大いに株を上げる。

### ヘンリー王子

メーガン妃の指導で健康な食事、ジム&禁酒禁煙を頑張りすぎりした姿で結婚式に。王室の反逆児も彼女には…。

### メーガン妃

披露宴で異例のスピーチを行った新婦。離婚経験も話し「愛を見つけるまで待った甲斐があった」とはさすが!

### ドリア・ラグランド

オスカー・デラレンタを着こなす新婦の母。ヨガの指導者として培った体と精神で61歳と思えない若々しさ。

### ウィリアム王子

礼拝堂で新婦を待つ間、異常に緊張している弟に「ママが×××」と話し掛け、リラックスさせたベストマン兄。

### ジョージ王子

人見知り止まらず、外ではパパに隠れていた王子。公式写真での奇跡の笑顔は実はお菓子につられてらしい?



E. ジャスパー・ダイアー ヘンリー王子が名付け親で、父はウェールズ近衛連隊の将校。 F. ブライアン・マルローニー G. フローレンス・ヴァン・カッツェム ヘンリー王子が名付け親。彼女の祖父はチャールズ皇太子と親友、父は王子兄弟と親友という間柄! H. アイヴィー・マルローニー

### エディンバラ公

実は直前に肋骨骨折。でもおじいちゃま大好きの子のためリハビリを頑張り、痛みをこらえて出席した驚異の96歳。

### エリザベス女王

胸に光るブローチ、なんと新婦のティアラと同じジュエリーセットのもの。メーガン歓迎を示す女王流最大限の表現。

### シャーロット女王

足元の白い靴は新婦がお色直しで履いた靴と同じアクアズーラ。イニシャルと日付が刻印されていて大切な記念に。

### キャサリン妃

仲良し義弟のため脇に徹したキャサリン妃。新婦は支えてくれた彼女にゾフィア・デイのプレズレットをプレゼント。

A. ジョン・マルローニー B. ライアン・リット C. デミ・リット ライアンとデミはメーガンの親友ベニータの娘で、彼女がゴッドマザー。 D. ザリー・ウォレン 今回最年少の2歳でヘンリー王子がゴッドファーザー。彼女の父は王子の親友ジェイクで、ダイアナ妃がそのゴッドマザーという絆も。